

標準労務費に基づく6つの躯体種別の標準労務単価目安

今回公表するのは標準労務費(設計労務単価×歩掛)に基づいて作成した躯体種別による**標準労務単価目安**です。全国平均は原則として国土交通省の地整所在都道府県及び各地域で単価の影響力が高い県を選択して作成した。調査都道府県は下記の通り。

北海道、宮城県、新潟県、石川県、東京都、愛知県、大阪府、香川県、広島県、福岡県、鹿児島の11都道府県。

この平均値を全国平均値とした。歩掛・資材調達費などの数値は各支部で本調査に協力して頂いた30社程度の平均値を採用。

公共工事設計労務単価は2026年3月公示を適用。

躯体種別	(a)標準労務費換算	型枠大工歩掛	型枠解体工歩掛
4階建てRC造庁舎	¥5,444	7.3㎡	25.34㎡
RC造公立中学校・病院	¥5,489	7.11㎡	25.22㎡
RC造在来スラブ7階建てマンション	¥4,300	9.2㎡	29.53㎡
RC造在来スラブ15階建てマンション	¥4,095	9.88㎡	31.58㎡
S造工場	¥4,696	8.5㎡	25.88㎡
S造事務所ビル	¥7,225	5.29㎡	17.35㎡
【参考】CCUSレベル別年収達成目安 在来マンション7階建て(関東)	¥3,928	9.2㎡	29.53㎡

※CCUSレベル別年収(型枠大工・型枠解体工 別表参照)を実現するために東京において必要なマンション7階建ての場合の単価が【参考】で示した額。
この場合の型枠大工の日額賃金(本人負担含む)は¥29,971で設定しています。

※解体工単価は標準労務単価全国平均算出にて求められた11都道府県平均手取り単価の24,455円に本人負担分の法定福利費(東京都基準)を加算して、28,815円としました。